


金沢市自殺対策計画 2024 の骨子案についてのパブリックコメントにおける意見の概要と金沢市の考え方

- 1 募集期間 令和 5 年12月19日（火）～令和 6 年 1 月17日（水）
- 2 提出方法 メール、郵便、ファクシミリ又は窓口へ持参
- 3 意見数 6 件（意見者数 2 人）

No.	いただいたご意見の概要	金沢市の考え方
1	表紙 近年、他の自治体で増えているように、計画期間（2024 年度～2029 年度）を明記いただくと、計画が職員や関係者・関係団体・住民に活用されやすいのではないのでしょうか。	表紙に計画期間を明記します。
2	「1. 策定の背景と目的」 参考資料にある「計画の数値目標達成状況について」の内容を含めて、本年度までの「第 1 期計画」の成果と課題についても概要を説明することが望まれます。あいまいにせず、現実を共有して直視することで、職員も市民も自殺対策を深く考察し、積極的に推進・協力・支援することが可能となるのではないのでしょうか。	これまでの取組と評価について本計画内に記載します。
3	「表 自殺者数」 自殺対策は長期的視点が重要です。骨子案では 2017 年以降の 6 年間しか示されていませんが、少なくとも 10 年程度は示すことが有意義ではないのでしょうか。	自殺者数については、現計画と同様に 1995 年から直近までのデータをお示しします。

4	<p>「4. 施策の推進方針」</p> <p>「子どもの特性に応じた支援の充実」－ 「子どもの特性に応じた支援の充実」</p> <p>新学習指導要領において、「仲間と対話し協力して課題を解決する学習過程の工夫」や「心の健康」が強化されたことを踏まえ、内容を改訂いただくと自殺防止にも効果的ではないでしょうか。</p>	<p>教育委員会では、学習指導要領の内容を踏まえ、道徳教育や人権教育の教育課程の基準を学校に示しています。学校においては、その基準に基づいて指導を行ってきており、引き続き、命の尊さや人権を大切にする教育を推進していきます。</p>
5	<p>「Ⅲ 世代の特性に応じた施策」</p> <p>世代や男女別の区分ではこぼれがちな、さまざまな、自殺のハイリスク層に目配りされた、「誰も取り残さない」自殺対策とすべきです。</p>	<p>世代や男女で区分されない、失業・多重債務・DV・介護疲れ・健康障害・性犯罪被害・LGBTQ+など自殺の背景となり得る要因を抱えた方への支援も重要と考えています。「Ⅱ自殺予防のための相談・支援の充実」－「相談体制の充実」に、これらの要因を抱えた方を含め、「誰一人取り残さない支援」を行うことを明記します。</p>
6	<p>「4. 施策の推進方針」－「具体的な方策」の計画本体に次の点も盛り込んでください。</p> <p>(1) 「・相談業務を担当する職員の資質向上」「・地域・職域でのゲートキーパー研修の推進」の対象である民生委員・児童委員、市職員、教職員、これら全員への「性の多様性」についての新しく正しい情報に基づく研修の推進を明記してください。</p> <p>(2) 「・地域・職域でのゲートキーパー研修の推進」の対象に、理美容師等も加えてください。</p>	<p>(1) 自殺の背景となり得る要因は様々であり、最新の状況を踏まえ、研修を行っていきます。なお、「性の多様性」に関する啓発・研修については、ダイバーシティ人権政策課で実施しており、互いに連携し普及・啓発を図っていきます。</p> <p>(2) 「職域でのゲートキーパー研修」について、自殺の危険性が高い人の早期発見・早期対応を図るため、職場などの身近にいる人がゲートキーパーの役割を担えるよう支援することが必要です。職域には理美容師も含めすべての職種・職場が該当すると考えています。</p>

<p>(3) 「・関係機関・関係団体との連携の強化」として、「性的マイノリティなど、自殺リスクの高い人々の孤立を防止するための居場所づくりへの支援・居場所の情報提供」も加え、年代別や男女別区分だけでは対象からこぼれ落ちるハイリスク・グループへの施策も明記してください。</p> <p>(4) 「・相談機関の周知」の相談機関事例として「よりそいホットライン」や「つなにじ on ライン」など LGBTQ+への対応をしている機関も加えてください。</p>	<p>(3) (4) 自殺対策の推進には関係機関・関係団体との連携が重要と考えています。こころのポータルサイト「よりそうなかま」を通じて、LGBTQ+への対応をしている支援団体をはじめ、様々な支援団体や公的相談先等の周知を行っています。</p>
--	--